

(様式1)

地域間幹線系統別確保維持計画

令和4年6月 日

(住所) 長野県佐久市野沢20番地
(名称) 千曲バス株式会社
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系統名	: 中仙道線
運行区間	: 佐久医療センター～立科町役場 (佐久医療センター～蓼科高校)
計画期間	: 令和5年10月1日～令和7年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性 (生活交通路線である理由・路線の状況)	
<p>佐久市地域公共交通確保維持改善協議会において生活交通路線として承認を頂いている中仙道線は、浅間総合病院・佐久平駅・高等学校等への通院・通勤・通学の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、中仙道線の公共交通機関の利用者は減少を続けており、当該路線は収支悪化等により自主運行では路線の存続が厳しい現状となっている。また昨今のバス業界を取り巻く状況において、運転者の成り手不足や高齢化といったことが問題となっており、さらに利用者の減少が路線の減便や廃止の原因となっている。将来の路線存続のためには利用者の増加はもとより、運転者の確保が急務であるが、併せて効率的な時間編成と運行内容を考えることも必要とされる。</p> <p>そのため、運賃低減施策を継続することにより利便性を向上させ、利用客の増加を図ることによって中仙道線を確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させてゆくことが必要である。</p>	

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果	
(1) 運行の目標	
中仙道線の運行コストを地域キロ当たり標準経常費用以内とする。 中仙道線の輸送量を20.00以上で維持する。	
(2) 運行による効果	
中仙道線を維持することにより、佐久市・立科町の高齢者及び学生等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線ネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出を促進させ地域の活性化にもつながる。	

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態に即した実用的なダイヤ編成を行う(事業者) ・利用促進啓発活動の実施(事業者) ・バス車内に期間限定のデコレーションをして利用啓発(事業者) ・時刻表の配布(無料配布)(事業者) ・回数券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン(事業者) ・安心・安全に利用していただくための新型コロナウイルス感染対策(事業者) 	

5. 費用負担額					
補助対象期間	欠損見込額*	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R4.10～R5.9	14,983,562 円	3,135,500 円	3,135,500 円	円	8,712,562 円
R5.10～R6.9	14,859,217 円	3,109,500 円	3,109,500 円	円	8,640,217 円
R6.10～R7.9	14,921,389 円	3,122,500 円	3,122,500 円	円	8,676,389 円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の配布(無料配布) ・利用促進啓発活動の実施 ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン ・安心・安全に利用していただくための新型コロナウイルス感染対策 	

7. 生産性を向上する取組	
(1) 取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・バス車内に期間限定のデコレーション ・時刻表の配布(無料配布) ・利用促進啓発活動の実施 ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン ・利用実態に即した実用的なダイヤ編成 ・安心・安全に利用していただくための新型コロナウイルス感染対策 	
(2) 実施主体	
千曲バス株式会社	

地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）

令和4年6月 日

(住所) 長野県佐久市野沢20番地
(名称) 千曲バス株式会社
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀

(2) 定量的な効果目標
上記取り組みを実施することにより、収支率、対前年比1%以上の増加を目標とする。
(3) 実施に向けたスケジュール
令和4年11月・12月、令和5年4月・8月 車内デコレーション 令和4年11月12月、令和5年2月 プレゼントキャンペーン 令和5年6月・9月 利用促進啓発活動 通年にて時刻表の無料配布及び新型コロナウイルス感染症対策
(4) 実施時期
上記日程にて実施
(5) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 長野県小諸市加増 581-1
(所属) 千曲バス株式会社
(氏名) 山崎 康太郎
(電話) 0267-26-2600
(FAX) 0267-24-2610
(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp

1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系統名 : 中仙道線
運行区間 : 岩村田～芦田
導入予定年月 : 令和5年11月

2. 車両の取得に係る目的・必要性

中仙道線での利用が、通院・通学・通勤をされるお客様がいるなかで、高齢者及び体の不自由な方の利用が多くなってきている。また、車両の老朽化も進んでいるため、高齢者や体の不自由な方にも利用しやすい低床型（ノンステップ・スロープ付き）の車両を購入して、利用者のサービスを向上するとともに事業収益の改善を図りたい。

3. 車両の取得に係る定量的な目標及び効果

(1) 新規車両導入に係る目標

中仙道線の輸送量 20.00 以上を維持する。
運行車両燃費を 1ℓ あたり 4 km以上とする。

(2) 新規車両導入に係る効果

高齢者や障がい者にとって乗りやすい車両になり、利便性・安全性が向上する。

4. 入替予定車両の状況

メーカー : 日野
乗車定員 : 62人
登録番号 : 長野200 か ・ 434
登録年度 (車令) : 平成7年3月
修繕費 (前年度実績) : 450,000円

5. 新規導入車両を活用した利用促進策

新車導入により利用者の利便性・快適性の向上

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 長野県小諸市加増 581-1
(所属) 千曲バス株式会社
(氏名) 山崎 康太郎
(電話) 0267-26-2600
(FAX) 0267-24-2610
(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp